

審査委員講評

表彰式における審査委員の講評を誌面の都合上要約してご紹介します。

原 広司

東京大学名誉教授



提案部門は、総体的に見て水準が高かったと思います。中尾・石原・小澤案はイメージの美しさが主たる選考理由で、場所と歴史の力を巧みに生かしながら、ガラスの材質が持っている幻想性を誘起しています。園部案は、地球の記憶といった長い時間と日常のサイクリックな時間とをガラスを活用することによって重ね合わせたところが評価されたといえるでしょう。太田・池田案は、ガラスによってつくり出される曲面の豊かな可能性を再確認させられるような表現力がありました。

作品例部門では、ガラスブロックの活用が応募作品の中で多くを占めていましたが、小針案はパネル化を図ってガラスブロックのシャープな表現に成功した作品といえます。佐取・杉江案は、ネオパリエの光の透過性を活用する可能性を示唆しているところが評価されたと思います。佐藤案は、スーパークラックノンの材質を表層として巧く生かしています。佳作については、ガラスの製品形態に合わせて、バランスを見て選出しています。全体的に見れば、それぞれの製品に関して、さらに工夫を凝らした使い方があり得るのではないかといった印象が残りました。

栗生 明

千葉大学教授



提案部門は、イメージが大変重要です。そういう意味で新しいガラスの可能性を示唆する提案を評価しました。中尾・石原・小澤案は厳島神社そのものを顕在化して、背景の風景をうまく陽炎というイメージにした点が非常に新鮮で魅力的でした。萩原・中西案は屋上に昼間は緑、夜は広告が映像として浮かんでくるといったアイデアが素晴らしかった。こういう空間がほしいという提案があれば、技術もチャレンジをしてみたいと思います。まずは何がやりたいかが一番重要であると再確認しました。作品例部門は、特殊ガラスを使用することにより、どのように空間が魅力的になるかが重要です。小針案はガラスブロックの特性を十分に活かし、デザイン的にも非常に完成度の高い作品でした。佐取・杉江案はネオパリエによって光を透過させ、インテリアデザインとして大変魅力的で、精度が高いものでした。ネオパリエ、スーパークラックノン、チュービーなど光とガラスをうまく絡めた作品を評価しました。コンベを通して、各素材の新しい可能性、こういう素材があったらいいなということを積極的に考える機会が提供されることは大変よいと思います。

菅原道雄

石本建築事務所代表



提案部門は、「建築と自然、人工、環境との関わり」または「建築の環境に対しての装置的な役割」に提案内容が大きく二分されました。中尾・石原・小澤案の陽炎は自然を強くイメージしたものでその魅力が他を圧倒しました。全体的にプレゼンテーションもよく整理されており、力作揃いでした。また、多くの提案が思いつきではなく、理論的にも研究されており、説得力のあるものでした。作品例部門では、ガラスブロックの使用例が圧倒的に多く、ネオパリエと真空式ソーラーシステムを除いて、ほとんどはインテリアの作品例でした。小針案は枠にはまらない大きな範囲でガラスブロックを採用した画期的な使用例。佐取・杉江案はネオパリエを利用した照明と吹抜の平面の機能とも整合した効果が魅力的でした。またスーパークラックノン、チュービー、グラソア、ファイアライト、アクラス、真空式ソーラーシステムなどを使った、注目に値する商業空間をそれぞれ選ぶことができました。今後特にネオパリエ、ガラスブロックについて、省エネルギーや色彩計画、ランドスケープなどの関係の中で新しい提案を期待します。

飯島伸浩

日本電気硝子
執行役員 建材事業本部長



空間デザインコンペティションも今回で10回目を迎えることができました。これもひとえに皆様方のお力添えのおかげと感謝しております。提案部門につきましては、環境が大変重要で今日的なテーマであることもあり、大変素晴らしい提案がありました。内容の高さにプレゼンテーションの上手さがプラスされ、一時は審査員の先生方から佳作5点を増やせないかというお話があがったほどでした。弊社の基本製品だけでなく、新しいガラス素材、使用方法も提案に加えていただきました。新しい素材、使用方法はメーカーの生命線です。これからもご支援よろしく願いいたします。作品例部門では、金賞のガラスブロック、銀賞のネオパリエ、銅賞のスーパークラックノン、佳作のチュービー、グラソア、ガラスブロック、真空式ソーラーシステム、アクラスと弊社の柱の商品と新商品がそれぞれ入賞いたしました。これからも弊社建材製品を可愛がっていただきたいと思っております。